

兵庫県のり漁場環境情報（東播海域 臨時 号）

2025年11月19日発行
兵庫のり研究所

海域全般に、大型珪藻コシノディスカスは確認されますが、発生量は減少しています。窒素は、陸水の影響が強く見られる海域地先で5～10 $\mu\text{g at/L}$ 台、その他の海域で2～3 $\mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

（水温） 漁場内平均19.0℃（平年比0.5℃、昨年比1.2℃ともに低い）。

（珪藻、栄養塩）

海域全般に、大型珪藻のコシノディスカスは確認されるが、発生量は減少していた。各海域のコシノディスカス発生量（海水1Lあたり）は、別府漁場地先⑥で600細胞前後（前回値：1,200細胞前後）、その他の海域で200細胞前後（前回値：200～1,100細胞）であった。

海域全般に小型珪藻は、ほとんど確認されなかった。

海域地先③' ⑤⑥では、陸水の影響が強く見られアンモニア態窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水 温	19.7	19.0	19.5	20.2
窒 素	4.5	3.9	5.1	3.3
リ ン	0.49	0.52	0.59	0.53

(11/14)

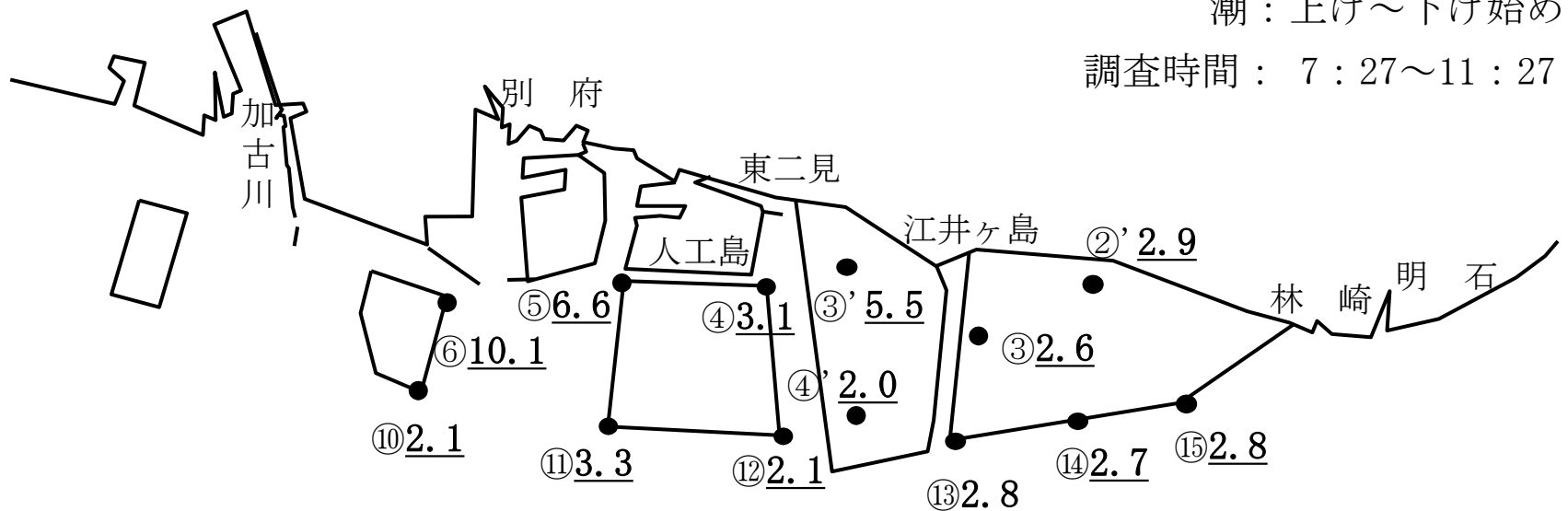
(11/21)

2025年11月19日調査

栄養塩（窒素）図

潮：上げ～下げ始め

調査時間： 7：27～11：27



水温図

